

VMware vRealize Suite と vCloud Suite

ライセンス、価格設定、パッケージ

目次

概要	3
VMware vRealize Suite のライセンスの概要	3
1つのライセンスで複数のコンポーネントに対応	4
VMware vRealize Suite のエディション	5
VMware vCloud Suite	6
VMware vRealize Operations アプリケーション監視アドオン	6
vRealize Suite のアップグレード	7
FAQ	8
詳細情報	8

概要

VMware vRealize® Suite は、エンタープライズ対応のクラウド管理プラットフォーム (CMP) で、異種混在のハイブリッド クラウドの管理を目的とした、業界でもっとも包括的なソリューションです。異種混在環境やハイブリッド クラウド環境について、IT サービスの健全性、パフォーマンス、キャパシティの管理をプロアクティブに対処し、効率性、パフォーマンス、可用性を向上させます。また、プライベート クラウドやパブリック クラウドで、導入初日から、コンピューティング、ストレージ、ネットワーク、およびアプリケーション レベルのリソースに対するクラウド管理の要件に対応できます。

vRealize Suite 2017 は次の機能で構成されています。

- **自動化**：インフラストラクチャとアプリケーションのセルフ サービスかつポリシー ベースでのプロビジョニングと管理
- **運用**：予測分析による健全性、パフォーマンス、およびキャパシティのインテリジェントな管理
- **ビジネス管理**：仮想インフラストラクチャを対象としたコストの算出、使用量の測定、およびサービスの価格設定の自動化
- **ログ分析**：全体的なログの収集、強力なログ分析、エンタープライズ クラスのスケラビリティ

VMware vRealize Suite は、vSphere Enterprise Plus と組み合わせて **VMware vCloud Suite®** として購入することもできます。

VMware vRealize Suite のライセンスの概要

VMware vRealize Suite のライセンスには Portable License Unit (PLU) が適用されます。お客様はオンプレミスの VMware vSphere® 環境、サードパーティ製ハイパーバイザー、物理サーバ、サポート対象のパブリック クラウドで実行するワークロードを柔軟に管理できます (図 1)。ライセンスの切り替えや変換は必要ありません。

vRealize Suite を使用する場合、1 個の vSphere CPU にオンプレミス環境で展開されたオペレーティング システム インスタンス (OSI) については無制限に、パブリック クラウド、サードパーティ製ハイパーバイザー、物理サーバに展開された OSI については 15 個まで、1 つの PLU ライセンスで管理できます。

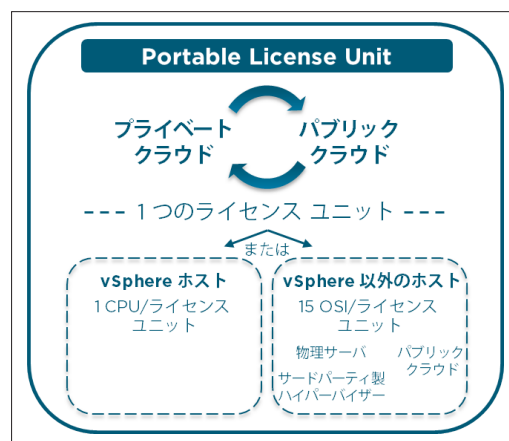


図 1：Portable License Unit

仮想マシン数の制限なし

vSphere CPU 上で vRealize Suite を使用して管理できる仮想マシンの台数に制限はありません。この CPU（プロセッサ）には、vRealize Suite または vCloud Suite のライセンスが必要です。管理対象の仮想マシンでは、ライセンスが付与された vRealize Suite のエディションに含まれるすべてのコンポーネントを使用できます。

オンプレミスの vSphere 環境とパブリック クラウドとの間のシームレスな移行

既存の vRealize Suite 環境では、PLU のライセンス体系によって、オンプレミスの VMware vSphere ワークロードの管理と、サポート対象のパブリック クラウド、サードパーティ製ハイパーバイザー、または物理サーバのワークロードの管理を切り替えることができます。このため、仮想マシンをオンプレミスからパブリック クラウドに移行しても、ライセンスを切り替えずに、同じインスタンスの vRealize Suite を使用してワークロードを管理できます。

1つのライセンスで複数のコンポーネントに対応

VMware vRealize Suite では、複数のコンポーネント（vRealize Operations™、vRealize Automation™、vRealize Business™ for Cloud、vRealize Log Insight™）が単一ライセンスの単体製品として提供されます。これらのコンポーネントの多くは、オペレーティング システム インスタンス（OSI）単位またはプロセッサ単位の単体製品としても提供されていますが、vRealize Suite として購入すると、単一の PLU ライセンスが付与されます。十分なキャパシティを購入済みであれば、vRealize Suite に含まれるすべてのコンポーネントを使用して、vSphere のライセンスが付与されたプロセッサ、サードパーティ製のサポート対象ハイパーバイザー、サポート対象のパブリック クラウド、またはその任意の組み合わせで実行される仮想マシンを管理できます。

vRealize Suite は複数のコンポーネントで構成されていますが、1つのライセンスで提供される単体ソリューションです。1つの vRealize Suite エディションに含まれる各コンポーネントは、1つのエンティティとしてライセンスが付与されます。vRealize Suite では、1つのライセンスを複数のプロセッサで使用することはできません。たとえば、1つのライセンスを、あるプロセッサ上で実行するコンポーネント（例：vRealize Operations）に使用し、別のプロセッサ上で実行する別のコンポーネント（例：vRealize Log Insight）に使用することはできません（図 2）。

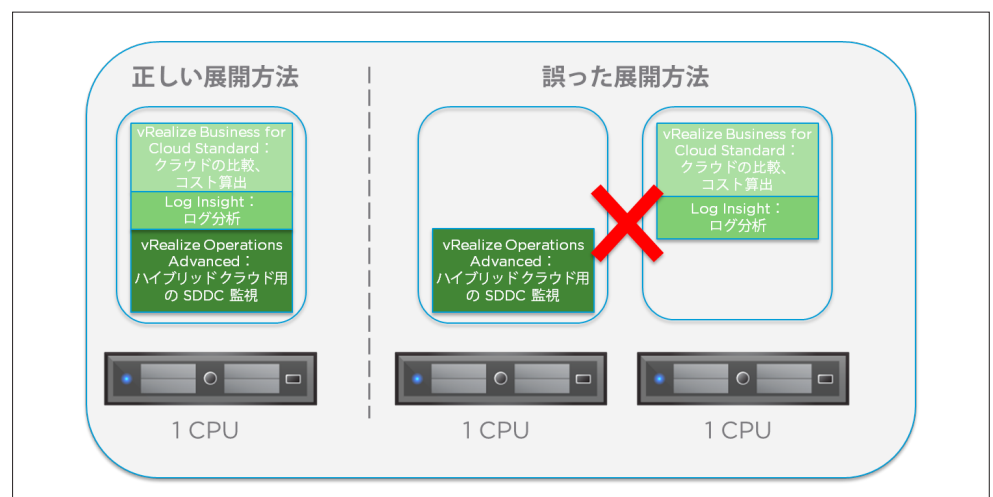


図 2：正しい展開方法と誤った展開方法

VMware vRealize Suite のエディション

VMware vRealize Suite には 3 種類のエディションがあります。それぞれ機能と価格が異なるため、要件やユースケースにあわせて最適なライセンスをお選びいただけます (図 3)。

vRealize Suite を購入する際には、その都度、サポートおよびサブスクリプション (SnS) を別途ご購入ください。

- Standard Edition** : インテリジェントな運用のユースケースをサポートします。構造化されたデータやログ データを使用して予測分析を行い、IT コストを詳細に把握することで、運用の効率化、アプリケーションのパフォーマンスと可用性の向上を目指す IT 部門を対象としています。
- Advanced Edition** : IT 自動化のユースケースをサポートします。インフラストラクチャリソースとアプリケーション リソースの提供と継続的な管理を自動化することで、IT サービスの迅速な提供を目指している企業を対象としています。
- Enterprise Edition** : 開発者向けクラウドのユースケースをサポートします。生産性を最大限に高めるツールを自由に使用できる環境を開発者に提供しながら、アプリケーションを開発環境から本番環境にシームレスに移行できるようにすることで、従来型のアプリケーションとコンテナ化されたアプリケーションの両方の迅速な提供を目指す IT 部門を対象としています。

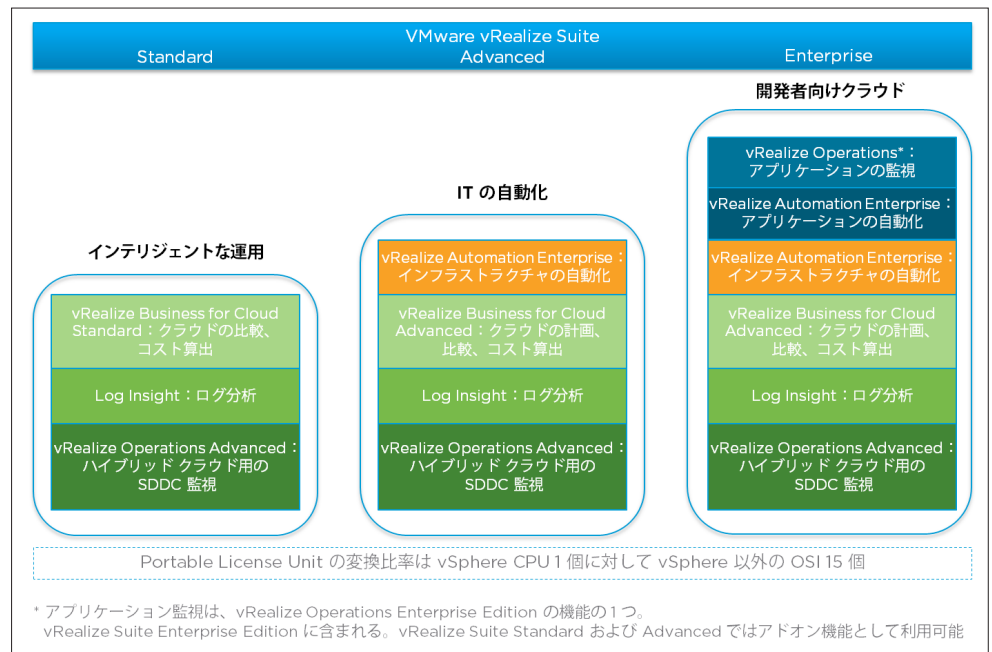


図 3 : vRealize Suite のエディション

VMware vCloud Suite

VMware vCloud Suite は、市場をリードする vSphere Enterprise Plus ハイパーバイザーと VMware vRealize Suite が含まれるパッケージです (図 4)。vCloud Suite は、vSphere と vRealize Suite を個別に購入するよりも低価格で購入いただけます。vCloud Suite には 3 つのエディションがあり、それぞれ含まれる vRealize Suite エディションが異なります。

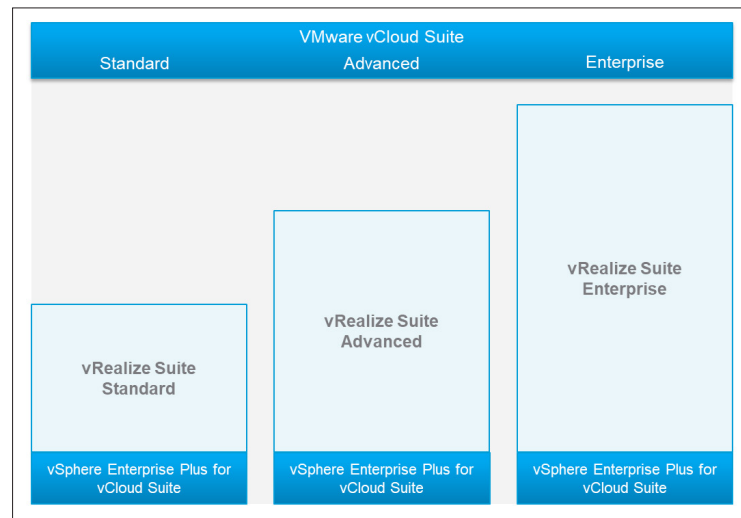


図 4 : vCloud Suite のエディション

VMware vRealize Operations アプリケーション監視アドオン

vRealize Suite Standard および Advanced の各エディションを所有していて、アプリケーションレベルの監視を必要とされるお客様向けに、VMware vRealize Operations アプリケーション監視アドオンをご用意しています。このアドオンでは、vRealize Suite を拡張してアプリケーションとデータベースの監視を行うことが可能です。この機能を使用するためには、サードパーティ製管理パックが必要になる場合があります。vRealize Suite Enterprise エディションには vRealize Operations のアプリケーション監視機能が含まれています。

vRealize Suite のアップグレード

vRealize Operations、vRealize Automation、vRealize Business for Cloud、vRealize Log Insight などの単体製品から vRealize Suite へのアップグレードを購入いただけます (図 5)。すでに単体製品を購入済みの場合は、アップグレード オプションを利用することで、既存の製品を活用できます。

アップグレード後 アップグレード前	vRealize Suite Standard	vRealize Suite Advanced	vRealize Suite Enterprise
vRealize Operations Enterprise	✓	✓	✓
vRealize Operations Advanced	✓	✓	✓
vRealize Operations Standard	✓	✓	✓
vRealize Automation Enterprise	✗	✗	✓
vRealize Automation Advanced	✗	✓	✓
vRealize Business for Cloud Advanced	✗	✓	✓
vRealize Log Insight	✓	✓	✓
vRealize Operations Insight	✓	✓	✓
vSphere with Operations Management Enterprise Plus	✓ (vCloud Suite Standard)	✓ (vCloud Suite Advanced)	✓ (vCloud Suite Enterprise)

図 5：利用可能なアップグレードパス

また、vRealize Suite の下位エディションから vRealize Suite の上位エディションへのアップグレードを購入することも可能です。サポート対象のライセンスを VMware vRealize Suite の上位エディションにアップグレードすると、元のライセンス キーが無効になり、アップグレード後のエディションに対する新しいライセンス キーが発行されたあと、SnS 料金が計算されます。新しい SnS 契約には、元のエディションの SnS 契約の残り期間が加算されます。これにより、ライセンス キーの SnS 契約と契約終了日が 1 つにまとまるため、SnS 契約のリニューアルが容易になります。

vSphere with Operations Management Enterprise Plus をご利用中のお客様は、vCloud Suite にアップグレードできます。vSphere をご利用中のお客様は、新しい vRealize Suite のライセンスを購入することで、VMware の CMP 機能をすべて活用いただけます。

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、VMware vRealize Suite のオンライン ドキュメントを参照してください。

FAQ

Q：vRealize Suite のコンポーネント（vRealize Operations など）を個別にアップグレードできますか

A：いいえ。vRealize Suite は単一ライセンスで機能する単一の統合ソリューションです。vRealize Suite のライセンスをコンポーネントごとに分割することはできません。アップグレードは、vRealize Suite のエディション単位でのみ可能です。

Q：vRealize Suite と vCloud Suite の違いについて教えてください

A：vCloud Suite は、vRealize Suite と vSphere Enterprise Plus for vCloud Suite で構成されるバンドルで、vRealize Suite と vSphere Enterprise Plus を個別に購入するよりも低価格に設定されています。vCloud Suite は、クラウド管理プラットフォームソリューションの購入と、vSphere のキャパシティ拡大を検討されているお客様を対象としています。

Q：vRealize Suite は、パブリック クラウドとどのように連携しますか。また、パブリック クラウドをどのように活用できますか

A：vRealize Suite を使用して、パブリック クラウド プラットフォームで実行するワークロードのプロビジョニングと管理を自動化できます。

Q：vRealize Suite を実行できるハードウェア インフラストラクチャのタイプを教えてください

A：vRealize Suite は vApp として出荷されるため、VMware のハイパーバイザー プラットフォーム (vSphere) を実行できる任意のハードウェア インフラストラクチャで実行できます。

Q：vRealize Suite を購入する際の前提条件はありますか

A：vRealize Suite の前提条件となる VMware 製品はありませんが、IT 環境の構成について特定の要件があります。これらの要件については、製品のユーザー ガイドを確認してください。

本資料は原題「VMWARE vREALIZE SUITE AND vCLOUD SUITE」の翻訳版です。



ヴァイムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp

Copyright © 2017 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. およびその子会社の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。アイテム番号：59893wf-vmw-wp-pnp-vrs-q3fy18-sddc-launch-a4-102
E:2017/09 J:2017/11